

大仙市行政サービス改革大綱

取組計画実績報告書

(令和2年度～7年度)

令和 8 年 8 月
大仙市

1. 大仙市行政サービス改革大綱の概要

本市では、平成17年度以来に三次にわたり行政改革大綱を策定し、社会情勢や市民ニーズの変化に対応しながら、多岐にわたる行政改革の取り組みを推進してきました。そして、令和2年度に策定した「行政サービス改革大綱」は第4次行政改革大綱にあたり、令和7年度までの6年間の推進期間としています。

この行政サービス改革大綱は、人口減少と高齢化の進行等の課題を、限られた財源を有効活用し「最小の経費で最大の効果」を得るため選択と集中による取組が必要とされる現状で、経費縮減のみを重視した行政改革とならないよう、市民目線の「行政サービス」に重点を置いた「将来を見据えた、行政サービスの最適化」を基本方針とし、行政サービス満足度を高める「質の改革」、業務効率化やコスト削減を目指す「量の改革」の2つの視点による4つの重点取り組みにより改革を目指すものです。

◇4つの重点取り組み

2つの視点	4つの重点取り組み		個別具体的な取り組み項目	
質の改革	1	行かなくて済む『市役所』の推進	1-①	電子申請の推進
			1-②	オープンデータ ¹ の導入検討
	2	来庁者にやさしい『市役所』の推進	2-①	分かりやすい窓口の推進
			2-②	申請書の簡略化
量の改革	3	サービス向上と業務効率化を目指すオフィス改革	3-①	『AI ² ・RPA ³ 』等新技術の導入検討
			3-②	ペーパーレス化の推進
			3-③	働き方改革の推進
	4	新規財源確保の推進	4-①	新規財源確保の検討

2. 取組計画の結果

取組計画に挙げられた各取組について実績をまとめ、取組活動の評価を行いました。

①達成状況

計画推進期間の期末(R8.3.31)時点の状況で、最終年度の目標に対する進捗度合いを整理

¹ オープンデータ：誰もが容易に利用できる形式により、国、地方公共団体及び事業者がインターネット等を通じて公開するデータ

² AI (Artificial Intelligence)：人工知能。「学習・認識・理解・推論・提案」など、人間の知能を人工的に再現する技術の総称

³ RPA (Robotic Process Automation)：パソコンで行う定型的、反復的な事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術

しました。

「 達成 / ほぼ達成 / 取組中 / 調査・検討 / 未着手 / 達成困難 」

各取組の達成目標に対する進捗状況は、「達成」した取組が4件、「ほぼ達成」した取組が1件、「取組中」の取組が3件でした。なお、「ほぼ達成」は目標に対して9割程度進捗したものとしています。

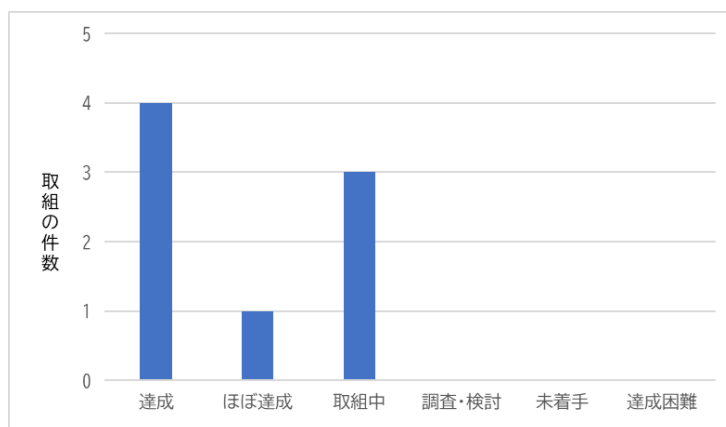


図1 取組項目の達成状況別件数

主な成果として、電子申請可能な業務数の増加(計画当初:14業務、目標:70業務(当初の 5 倍)、実績:80業務)や、財源確保策として市有資産の活用、財産処分の推進(計画当初:未実施、目標:累計収支 2,000 万円以上、実績:14,276 万円)が挙げられます。

②集計結果

最終年度目標の達成状況、取組実績と評価等、取組の詳細な内容については別紙「大仙市行政サービス改革大綱取組計画実績報告書 個別実績調書」にまとめています。今後は今回の結果を踏まえ、取組を進める中で常に見直しを図りながら、さらなる市民サービスの向上と行政運営の効率化に取り組んでまいります。